

令和4年度 第7回 名古屋市環境影響評価審査会  
会議録

1 開催日時

令和5年3月28日（火）午後2時～3時

2 開催場所

大会議室（東庁舎5階）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、審査会委員はWEB会議システムにより参加

3 出席者

(1) 審査委員（五十音順、敬称略）

青木	聡子	（名古屋大学准教授）
石井	仁	（名城大学教授）
市野	良一	（名古屋大学教授）
岡村	聖	（名古屋産業大学教授）
香川	雅子	（愛知学院大学非常勤講師）
佐野	泰之	（愛知工業大学教授）
都竹	愛一郎	（名城大学教授）
夏目	知道	（愛知県立芸術大学准教授）
西田	佐知子	（名古屋大学准教授）
西野	隆典	（名城大学教授）
藤田	素弘	（名古屋工業大学教授）
増田	理子	（名古屋工業大学教授）
横田	久里子	（豊橋技術科学大学准教授）
横山	清子	（名古屋市立大学教授）

計14名

(2) 事務局 地域環境対策部長始め5名

(3) 傍聴者 1名

4 議事及び意見等の要旨

事務局より、今回の審査会の出席者が14名であり、審査会が成立していることを確認した。

議題 大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価準備書について（答申）

[会長] それでは、議題「大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価準備書について（答申）」の審議に入りたいと存じます。

まず、最初に資料1「令和4年度第6回審査会での質問と回答」について、事務局から説明をお願いいたします。

[事務局] （資料1について説明）

[会長] ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。

[会 長] よろしいでしょうか。  
続きまして、資料2「答申（案）」について事務局から説明をお願いいたします。

[事務局] 項目が多いため、前後半に分けて説明させていただきます。（資料2-前段～2(6)について説明）

[会 長] ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。皆様には一度ご覧いただいている資料ですが、改めてご質問等ございましたら、遠慮なくお願いいたします。

[会 長] よろしいでしょうか。それでは、続いて資料2の後半部分について事務局から説明をお願いいたします。

[事務局] （資料2-2(7)～について説明）

[会 長] ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますか。

[委 員] 資料2の2予測・評価等に関する事項の(7)水質・底質及び地下水のイの上から二行目や(9)地盤のアの上から二行目では、「分かりやすく」という言葉が使われていますが、(7)のアは、始めに送付された事務局原案にあった「分かりやすく」という言葉が消え、「科学的知見に基づく」という言葉に変わっています。使い分けた意図を教えてください。

[事務局] 2(7)は、委員のご指摘により修正させていただきました。ここは、エコチューブ袋に関係する部分になることから、分かりやすくというよりは論文等の学術的資料を基に、科学的観点からしっかりと説明していただきたいという内容になっております。  
(7)イや(9)アの「分かりやすく」としたところは、工事施工手順に沿って記載したり、言葉を補いながら丁寧に説明したりするなど一般の方にもイメージしやすい内容としていただきたいというところで、使い分けております。

[会 長] 他にご意見、ご質問はございますか。

[会 長] ないようですので、これを当審査会の答申といたします。

[事務局] （お礼の挨拶）

[会 長] ありがとうございました。それでは、本日予定されていた議題は以上となりますが、事務局から他に何かございますか。

[事務局] 本日はありがとうございました。いただきました答申をもとに、市長意見を作成し、事業者へ送付するとともに、市民の皆様へ縦覧させていただきます。また、委員の皆様へも郵送させていただきます。

本日、この大江川下流部公有水面埋立て事業含め、環境影響評価手続きが行われている事業について、進捗状況を取りまとめておりますので、事務局より簡単に報告させていただきます。

[事務局] （資料3について説明）

[会 長] ありがとうございました。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。

[会 長] ないようです。事務局から他にございますか。

[事務局] 来年度の審査会でございますが、先程説明させていただきましたように、夏頃に事後調査結果中間報告書が提出されますので、それ以降に開催を予定しております。開催が近づいてきましたら、日程調整等ご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、先程、部長からのお礼でも述べさせていただきましたが、大江川準備書への答申をいただきましたので、本日の審査会をもって一区切りとさせていただきたいと思っております。5名の委員、市野会長様、青木委員様、都竹委員様、本日ご欠席でございますが、鈴木委員様、洞澤委員様、以上5名の委員の皆様は、本日の審査会が最後となります。

よろしければお言葉をいただければと思います。

[委員] 3月末で名古屋大学を離れることになり、それに伴いまして委員を退任することになりました。この審査会では、いろいろ学ばせていただいて、本当にありがたく思っております。今後とも審査会で活発な議論がされて、名古屋市が環境にやさしい、環境配慮的な自治体として、益々発展していくことを祈っております。どうもありがとうございました。

[委員] 私は、2011年から12年、この審査会に参加させていただいておりまして、今回退任ということでございます。私はデジタルテレビが専門でございますので、この審査会では、テレビの難視聴対策を主に見てきました。幸いなことに、事前の対策がしっかりとされておりまして、私の出る幕はほとんどありませんでした。この点については、逆に少し残念なところもあります。

今日、大学に来た時に、まだ3月だというのに、大学の桜は満開を過ぎまして、もう散り始めています。報道では、どうも平年より6日程早いようです。温暖化の影響かと思われまして、今後どうなるのか非常に心配なところです。今、温暖化防止、SDGsの達成に向けて、この審査会もますます重要になっていくものと思われまして。だからといって、名古屋市の発展のためには開発を止めることができません。できるだけ環境にやさしい開発によって、名古屋市をよりよい街にさせていただければと思っております。

名古屋市の益々の発展と皆様方のご活躍、ご健勝を祈念しております。ありがとうございました。

[会長] 本日、無事、答申することができました。この審査会では、委員の皆様のすばらしい質疑応答、専門的な視点から私もいろいろ勉強させていただきました。委員のおっしゃるように、「都市の発展」と「環境」は隣り合わせだと思っております。この先、新しいものを作る時、あるいは、作り直したりする時には、新たな環境対策や基準が生まれてくると思います。それに合わせて、今後も委員の皆様から遠慮なく意見を上げていただき、名古屋市の発展を支えていただきたいと思います。事務局の皆さんにおかれましても、毎回、審査会用の資料がとても良くできておりました。至らぬ点もあったかと思いますが、皆様のおかげで会長を務めさせていただくことができました。どうもありがとうございました。

[事務局] ありがとうございました。委員の皆様、これまで審査会へ貴重なご意見、ご指摘をいただき、誠にありがとうございました。

事務局からは以上でございます。

[会長] それでは、これをもちまして本日の審査会を終了いたします。皆さん、ありがとうございました。